

皆様のお声

記入日 平成 27年 8月 27日

イニシャル	T.K	年齢	65	性別	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
-------	-----	----	----	----	--

来院時の症状	偏頭痛
--------	-----

【ご意見・ご感想をご自由にお書き下さい】

最初に新井先生に伺ったのは確か33歳位ではなかったでしょうか。遺伝と思われる偏頭痛に悩んでいたところ、紹介を受けて治療を受け始めました。高円寺のガラス張りのビルでした。それから何と32年になろうとしていて、現在は頭痛の発作はほとんど無くなりました。有り難い話です。

私は30歳を超える辺りから偏頭痛に悩まされるようになり、よく会社を突然休んでいたりしました。ときには2~3日休んでしまい、それが年に4~5回もあると、この先がとて不安になりました。発作が起きると吐いて、何も喋りたくないし、頭から布団をかぶってただただ耐えて頭痛が過ぎ去るのを待つだけでした。大病院での精密検査はとくに異常なしで、答えとして受け取ったのは痛み止めの薬でした。

新井はりの素晴らしいところは、鍼の痛みがほとんど無いことです。そして、不思議なことに治療のベッドに横になってしばらくすると何も治療を始めていないのに、このあと良くなりそうな予感がしてくるのです。こう書くと何かオカルトめいてきますが、本当の体験です。

症状を訴えると先生は必ず「苦しかったでしょう」「たいていでしたね」と優しく声をかけてくれます。そして「きっと良くなりますよ」「できるだけやってみましょう、大丈夫」と励ましてくれます。その瞬間だけでも来て良かったと思うのです。

偏頭痛の治療は長い時間掛かるだろうというお話を頂いていました。最初は月に平均4回通いました。発作で頭が割れるほど痛いときには鍼治療で若干軽くなった程度で帰ることもありました。そんなときには「こんなものかな？」と密かに疑問に思うことも正直ありました。そして、治痛を続けていくうちに、手首、足首、手足の指への治療で「お腹の中で胃や腸が動くのが分かるようになってきます。深い呼吸が戻ってくるのです。そして、頭痛が帰りにほとんど消えてしまうこともありました。4~5年経過する頃から通院も減らして月1回位にして除々に頭痛を忘れていきました。現在65歳を迎え、ほとんど頭痛に苦しむことは無くなりました。有難いことです。

【皆様のお声としてホームページに掲載してもよろしいでしょうか】

- はい
- いいえ

ご協力ありがとうございました。

最初に新井先生にお会いしたのは私が確か33歳ぐらいではなかったでしょうか。遺伝と思われる偏頭痛に悩んでいたところ、母に紹介を受けて門を叩きました。高円寺の駅前のガラス張りのビルでした。それから何と32年になろうとしていて、現在は頭痛の発作はほとんど無くなりました。有り難い話です。

遡ること25年、小学生のころに小児ぜんそくで苦しみました。都電病院という青山にある病院にも通っていましたが、芳しくなく、そんなところ小三の頃にある人に勧められて都電に乗って針灸に通いました。それが私に合っていたらしく1年ほどでほとんど治ったという経験をしました。苦しい発作が嘘のように消えてしまい、鍼と灸には信頼感がありました。当時の針は腹と背に数本刺すだけで、あとはほとんどお灸でした。

30歳を超える辺りから遺伝と思われる偏頭痛に悩まされるようになり、よく会社を突然休んでいたりしました。ときには2~3日休んでしまい、それが年に4~5回もあると、この先がとても不安になりました。発作が起きると吐いて何も喋りたくないし、頭から布団をかぶってただただ耐えて頭痛が過ぎ去るのを待つだけでした。大病院での精密検査はとくに異常なしで、答えとして受け取ったのは痛み止めの薬でした。

新井はりの素晴らしいところは、鍼の痛みがほとんど無いことです。そして、不思議なことに治療のベッドに横になってしばらくすると何も治療を始めていないのに、このあと良くなりそうな予感がしてくるのです。こう書くと何かオカルトめいてきますが、本当の体験です。

症状を訴えると先生は必ず「苦しかったでしょう」「たいへんでしたね」と優しく声がけてくれます。そして「きっと良くなりますよ」「できるだけやってみましょう、大丈夫」と励ましてくれます。その瞬間だけでも来て良かったと思うのです。

偏頭痛の治療は長い時間掛かるだろうというお話を頂いていました。最初は月に平均4回通いました。発作で頭が割れるほど痛いときには鍼治療で若干軽くなった程度で帰ることもありました。そんなときは、こんなものかな？と密かに疑問に思うことも正直ありました。

しかし、体のほかの部分・お腹の調子や肩こりや目の疲れなど、そのことを整えると偏頭痛もなりにくいということが分ってきました。もちろん、徹夜などは体調を崩す典型的な原因です。そのほか冷たい食べ物を取ったり、たくさん食べすぎたりすることで、胃腸の調子を崩し、その結果、偏頭痛に発展してしまうこともありました。もちろん体調は万全なのに突然頭痛が襲ってくることもありました。先生の手首、足首、足の指への鍼治療で私のお腹の中で胃や腸が動くのが分ります。そして深い呼吸が戻ってくるのです。そうして嫌な頭痛も帰りにはほとんど消えてしまっていたりします。

次第に頭痛の発作も減ってきて、5年を経過する辺りから通院も減らして月に1回ぐらいにして様子を見ながら次第次第に治療の間を開けていきました。そして気が付いたらこの年になってしまっていた！ということなんです。

体のバランスを整えるということが大切だということは良く言われます

が新井先生の鍼灸のお蔭で具体的にそれを体験させて頂きました。
その結果、知らず知らずのうちにほとんど治ってしまったという不思議
です。毎回治療の帰り道は体が暖かく感じ、帰宅後はとても眠くて、玄
関に入ってすぐにへたり込んでしまってそのまま床で眠ってしまったと
いうことも何度もありました。
それだけ、緊張体質だったのでしょう。先生の鍼灸のお蔭でそれを程よ
くほぐして頂いていたのです。

今、偏頭痛で苦しんでいる方に是非お伝えしたい。遺伝だと諦めないで
3か月だけでも毎週治療に通ってみてください。随分と楽になります。
そのあと、月一の通院で1年続けたら、はっきりと変化に気付くと思い
ます。まず発作が減ってきますし、もし発作が起こっても軽くなっ
てきます。きつときつと今の苦しみから抜けられると思います。
ぜひ門を叩いてみてください。

メールの文章を全て、紙一枚に書くのは難しいので、

一部割愛させて頂きました。

よろしくお願いたします。